

## 執筆者のプロフィール

(とびら)

丹羽 修 (Osamu NIWA)

埼玉工業大学先端科学研究所 (〒369-0293 埼玉県深谷市普濟寺 1690)。九州大学大学院工学研究科修士課程修了。博士(工学)。《現在の研究テーマ》電気化学分析、センサへ向けたカーボン薄膜・ナノ粒子修飾電極開発。《主な著書》“微小電極を用いる電気化学測定法”, 青木幸一, 森田雅夫, 堀内 勉, 丹羽 修, (電子情報通信学会) (1998)。《趣味》錦鯉, 模型づくり, 山歩き。

E-mail : niwa@sit.ac.jp

(ミニファイル)

長嶋 潜 (Hisomu NAGASHIMA)

株式会社ナックテクノサービス (〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33 千葉大学西千葉キャンパス千葉ヨウ素資源イノベーションセンター (CIRIC) 202 号)。日本大学理工学部。博士(工学)。《現在の研究テーマ》燃焼イオンクロマトグラフィーの開発及び応用研究。《主な著書》“役にたつイオンクロマト分析”, (分担執筆) (IC 研究懇談会編)

(みみずく舎)。《趣味》読書。

E-mail : nac-nagashima@paw.hi-ho.ne.jp

荒井孝義 (Takayoshi ARAI)

千葉大学大学院理学研究化学研究部門 (〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33)。東京大学大学院薬学系研究科。博士(薬学)。《現在の研究テーマ》触媒的不斉合成による新規光学活性化合物の創製ヨウ素の高機能化。《趣味》旅行。

E-mail : tarai@faculty.chiba-u.jp

(トビックス)

金尾英佑 (Eisuke KANAO)

京都大学大学院薬学研究科(兼)国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 (〒606-8501 京都府京都市左京区吉田下阿達町 46-29)。京都大学大学院工学研究科博士後期課程修了。博士(工学)。《現在の研究テーマ》ナノ・マイクロ材料を利用した創薬標的探索。《趣味》テニス, 釣り。

E-mail : kanao.eisuke.7s@kyoto-u.ac.jp

押村美幸 (Miyuki OSHIMURA)

徳島大学大学院社会産業理工学研究部 (〒770-8506 徳島市南常三島町 2-1)。名古屋

工業大学大学院工学研究科未来材料創成工学専攻。博士(工学)。

(リレーエッセイ)

巽 広輔 (Hirotsuke TATSUMI)

信州大学理学部 (〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1)。京都大学大学院農学研究科応用生命科学専攻博士後期課程修了。博士(農学)。《現在の研究テーマ》液状電極を用いる電気化学測定。《主な著書》“ベーシックマスター分析化学”(分担執筆), (オーム社)。《趣味》能楽囃子(金春流太鼓)演奏。

E-mail : tatsumi@shinshu-u.ac.jp

(ロータリー・談話室)

四宮一総 (Kazufusa SHINOMIYA)

日本大学薬学部 (〒274-8555 千葉県船橋市習志野台 7-7-1)。千葉大学大学院薬学研究科博士後期課程修了。博士(薬学)。《現在の研究テーマ》向流クロマトグラフィーに関する研究。《主な著書》“Encyclopedia of Chromatography”(共著) (Marcel Dekker, Inc.) 《趣味》史跡巡り。

E-mail : shinomiya.kazufusa@nihon-u.ac.jp

## 原稿募集

創案と開発欄の原稿を募集しています

内容：新しい分析方法・技術を創案したときの着想, 新しい発見のきっかけ, 新装置開発上の苦心と問題点解決の経緯などを述べたもの。但し, 他誌に未発表のものに限ります。

執筆上の注意：1) 会員の研究活動, 技術の展開に参考になるよう, 体験をなるべく具体的に述べる。物語風でもよい。2) 従来の分析方法や装置の問題点に触れ, 記事中の創案や開発の意義, すなわち主題の背景を分かりやすく説明する。3) 図や表, 当時のスケッチなどを用いて理解しやす

くすることが望ましい。4) 原稿は図表を含めて 4000~8000 字 (図・表は 1 枚 500 字に換算) とする。

◇採用の可否は編集委員会にご一任ください。原稿の送付および問い合わせは下記へお願いします。

〒141-0031 東京都品川区五反田 1-26-2

五反田サンハイツ 304 号

(公社)日本分析化学会「ぶんせき」編集委員会

[E-mail : bunseki@jsac.or.jp]